

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンのK P Iについて

1 概要

平成 28 年 8 月に宮崎市で開催された連携中枢都市連絡会議において、総務省より、連携中枢都市圏ビジョンの成果指標（K P I）への目標値設定について求められ、全国の連携中枢都市圏で検討が進められることとなった。そのため、播磨圏域においても、平成 29 年度に向けた改定に合わせて各事業の K P I を設定するもの。

2 K P I の設定

(1) 目的

播磨圏域連携中枢都市圏における各種取組施策の明確な成果指標を設定するもの。

(2) 設定項目

播磨圏域連携中枢都市圏においては、都市圏ビジョンに示されている各種取組分野・施策ごとに設定することとする。（計 10 施策）※別表 1 参照

(3) フォローアップ

当該 K P I は圏域として取組内容を記載している連携中枢都市圏ビジョンに設定するものであるため、K P I の確認は、ビジョン有効期間終了後に達成状況を確認し、播磨圏域成長戦略会議において K P I のフォローアップを行うこととする。

3 進捗管理指標の設定

ビジョンに記載している施策の K P I の進捗を年度ごとに管理するため、10 施策のもとに掲げる事業の直接的な活動量や実績等を指標として設定する。

この指標の年度ごとの数値を確認することで K P I の達成に向けた取組みに反映するもの。

(設定例)

【連携協約】	
b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
○取組内容	
圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。	
K P I	従業者数：基準値：591 千人（H26 年） 目標値：591 千人（H30 年）

【進捗管理指標】

- ・創業支援事業によって創業した人数
- ・企業と学生のマッチング事業への参加企業数

(別表1 播磨圏域連携中枢都市圏のKPI)

役割	施策別	① KPI (ビジョン取組期間内での目標の達成状況を管理)			② 進捗管理指標 (1年ごとの重視すべき事業成果を確認)
		名称	基準値	目標値	名称
圏域全体の経済成長のけん引	産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率	- (H26年度)	100%	・連携中枢都市圏事業にかかる会議数
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	従業者数	591千人 (H26年)	591千人 (H30年)	・創業支援事業によって創業した人数 ・企業と学生のマッチング事業への参加企業数
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	地域ブランド(豊穡の国・はりま)登録事業者数	141者 (H27年度)	184者	・販路拡大事業に係る参加事業者数 ・農業者と商工業者のマッチング会への参加事業者数
	戦略的な観光施策	観光客入込客数	21,319千人 (H26年度)	25,000千人	・実宿泊者数(姫路市) ・外国人実宿泊客数(姫路市)
高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	医療従事者数(医師、看護師)	6,277人 (H26年度)	7,000人 (30年度)	・臨床研修医奨励金貸与件数 ・看護師就職説明会参加者数
	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	JR姫路駅の乗車人員	17,913千人 (H26年度)	19,000千人	・駅周辺整備状況(JR姫路駅) ・駅周辺整備状況(JR姫路駅以外)
	高等教育・研究開発の環境整備	研究助成件数	7件 (H26年度)	10件	・研究助成応募件数 ・連携協定を締結した大学数
上 圏域の全体の生活関連機能サービスの向上	生活機能の強化に係る政策分野	人口社会動態(東京圏からの転入者-東京圏への転出者)	△1,357人 (H26年)	転出超過 0人	・社会増減 ・文化・スポーツにかかる事業の実施件数
	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	JR姫新線、播但線の乗車人員(姫路駅を除く圏域内各駅)	19,422人/日 (H26年度)	22,100人/日	・利用促進イベント実施数 ・JR姫新線、播但線の各駅(姫路駅を除く圏域内の各駅)を発着するバス路線数
	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	研修を受講した職員数	860人 (H26年度)	1,100人	・開催講座数 ・姫路市以外での研修事業実施件数